

あま市を走る！
働く車シリーズ

はしご付消防自動車

青空に伸び行くはしごを見上げると初夏の日差しが眩しく思わず目を細めてしまいます。梅雨入りまもなくの6月上旬に海部東部消防組合消防署へ取材訪問することができました。消防車12台、救急車2台の働く車の解説を受けた中でも、断トツに格好いい車をご紹介します。



はしご付消防自動車は、高所での救助活動に有効で最大37メートルまで伸びます。先端のバスケットには放水銃が付いていて、中高層建物火災に有効です。



年式	平成 22 年式
排気量	15,000cc
車両全長	9.83 メートル
車両全幅	2.49 メートル
車両全高	3.50 メートル
車両重量	16,740kg
乗車定員	6 名
はしご長	37 メートル
作業範囲	-17 度から+ 75 度

精良な制御技術が搭載されたこの車に、たくさんの道具と熱いハートの消防士さんを乗せて現場へいち早く駆けつけます。



■取材後記■ 時代が流れても変わらずちびっ子たちの憧れの職業である消防士さん!海部東部消防の消防士さんたちはイケメンぞろいでした♪市民の安全のため昼夜を問わずのお仕事に感謝です! (by市民記者 焼き明太子)